

平成29年9月14日

保護者 様

栃木県立栃木翔南高等学校長

初秋の候、保護者の皆様方にはますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、北朝鮮のミサイル発射に関しましては、各方面でその対応に苦慮しており、本校でも緊急時への備えに万全を期すべく、対策を考えてきました。

つきましては、県教委からの通達に従い、以下の指導をしていきますので、何とぞ御理解と御協力をお願いいたします。

Jアラートやエリアメール等で ミサイル発射等の情報が発せられた場合の対応

①平日(授業日)

○ 登校前の場合

- ・ 上空通過等、安全が確保されるまで自宅に待機する。
- ・ 始業時刻については、安全が確保される時刻に応じて遅らせることもある。
- ・ 詳細については、一斉メールおよびHPで連絡する。

○ 登校途中及び着弾した場合

通達(裏面)の通り。

※ 交通機関の遅れ等による遅刻は、遅刻扱いとはしない。

②休日で、校内実施の模試や課外授業のある場合

- ・ 平日(授業日)に準じる。

③休日で、部活動や自主学習で登校する場合

- ・ 平日同様、上空通過等の安全が確認されるまで自宅待機する。
- ・ 登校途中及び着弾した場合は、通達(裏面)の通り。

④休日で、校外実施の行事に参加する場合(公開会場での模試や英検等)

- ・ 上空通過等、安全が確保されるまで自宅に待機する。
- ・ 主催者のHPで、実施や遅延に関する情報を得てから各自対応する。

⑤登校後で、校内にいる場合

- ・ 屋外にいる者は、早急に屋内に移動する。
- ・ 屋内では、できるだけガラス窓から離れ、カーテンを閉めて待機する。
- ・ 待機解除の放送等があるまでは、屋外には出ない。

弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動について

(平成29年4月21日付け消防国第38号、消防運第24号「弾道ミサイル落下時の行動等について」を参考に作成)

1. Jアラートを活用した緊急情報が発信された場合の行動例

○ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、Jアラートを通じて、防災行政無線等で特別なサイレン音とともにメッセージが流れるほか、急速報メール等によって緊急情報が発信されるので、メッセージが流れたら、落ち着いて直ちに次の行動をとることが求められる。

【屋外にいる場合の行動例】

- ・近くのできるだけ頑丈な建物や地下などに避難する。
- ・近くに適切な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。

【屋内にいる場合の行動例】

- ・できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

【自動車の車内にいる場合の行動例】

- ・車は燃料のガソリンなどに引火する恐れがあるため、車を止めて頑丈な建物や地下街などに避難する。周囲に避難できる頑丈な建物や地下街などが無い場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守る。

2. ミサイルが着弾した場合の行動例

○ミサイルが着弾した場合に取るべき行動の例は以下の通り。

- ・近くにミサイルが着弾した場合は、屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れて密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
- ・弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。